

〈お茶の間〉 において市政がわかる



夏の夜の 花火遊び

- ／うす暗くなった庭先きでシューと音をたてながら花火があたりを照らし出す。
- ／花火は、夏を代表するもののひとつ。
寒さ暑さのはげしいこの頃だけに、暑い陽ざしが続く頃には、いつの間にか夏がしのびよって来たという感じです。
- ／線香花火、ネズミ花火から、最近では時代を反映した鉄人花火など、新しい花火が出てきたが、夜の花火遊びは、夏の風物詩には変わりはない。いつの時代も、花火は、わたくしたちの郷愁を誘ってくれる。